

# 2011年3月期 中間決算説明会

2010年11月1日

東京エレクトロン デバイス株式会社

# 決算報告

# 連結業績

(単位:百万円)

	2010年3月期		2011年3月期		増減率 (率)
	中間	百分比%	中間	百分比%	
売上高	40,923	100.0	45,535	100.0	11.3
売上総利益	6,293	15.4	7,726	17.0	22.8
営業利益	615	1.5	1,150	2.5	87.0
経常利益	620	1.5	1,247	2.7	100.8
中間純利益	308	0.8	861	1.9	179.1
1株当たり中間純利益	2,912.61円		8,129.19円		
R O E	2.9%		7.8%		
従業員数	845人		879人		

# 9月24日 中間連結業績を上方修正

(単位:百万円)

	2010.4.28 年初発表 (A)	2010.9.24 修正発表	2011年3月期 中間実績 (B)	増減額 (B) - (A)	増減率 (%)
売上高	43,500	45,500	45,535	2,035	4.7
営業利益	870	1,050	1,150	280	32.3
経常利益	850	1,150	1,247	397	46.7
中間純利益	490	760	861	371	75.9

# 連結資産

(単位:百万円)

科目	2010年 3月31日現在	2010年 9月30日現在	増減額
現預金	1,621	1,386	234
受取手形・売掛金	20,890	20,528	362
たな卸資産	15,636	18,949	3,312
その他流動資産	2,987	3,076	88
有形固定資産	1,121	1,121	-
無形固定資産	464	438	26
投資その他の資産	2,925	2,850	75
資産計	45,649	48,351	2,702

# 連結負債・純資産

(単位:百万円)

科目	2010年 3月31日現在	2010年 9月30日現在	増減額
買掛金	7,255	7,956	700
短期借入金	5,105	6,608	1,502
その他流動負債	6,177	5,822	354
固定負債	5,198	5,425	226
負債計	23,737	25,813	2,075
資本金	2,495	2,495	-
資本剰余金	5,645	5,645	-
利益剰余金	13,903	14,499	596
評価・換算差額等	132	102	30
純資産計	21,911	22,538	626
負債・純資産計	45,649	48,351	2,702

# 連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	2010年3月期 中間	2011年3月期 中間	増減額
営業キャッシュ・フロー	1,364	1,316	47
投資キャッシュ・フロー	60	145	84
財務キャッシュ・フロー	1,336	1,247	89
現金及び現金同等物 中間期末残高	1,151	1,386	234

# セグメント別 連結売上高

(単位:百万円)

セグメント	2010年3月期 中間		2011年3月期 中間		対前年 増減率 (%)
	売上高	構成比 (%)	売上高	構成比 (%)	
半導体及び電子デバイス事業	32,661	79.8	37,475	82.3	14.7
コンピュータシステム関連事業	8,262	20.2	8,059	17.7	2.4
合 計	40,923	100.0	45,535	100.0	11.3



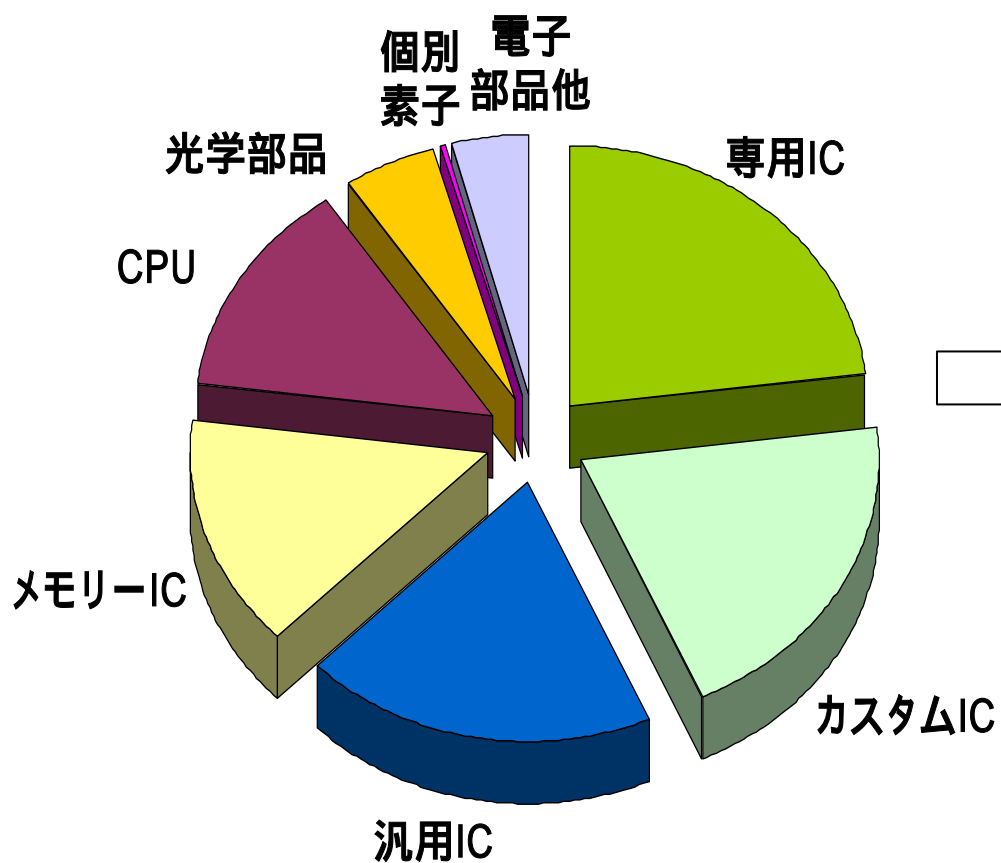
# 半導体及び電子デバイス事業



# 半導体及び電子デバイス事業 品目別 売上構成

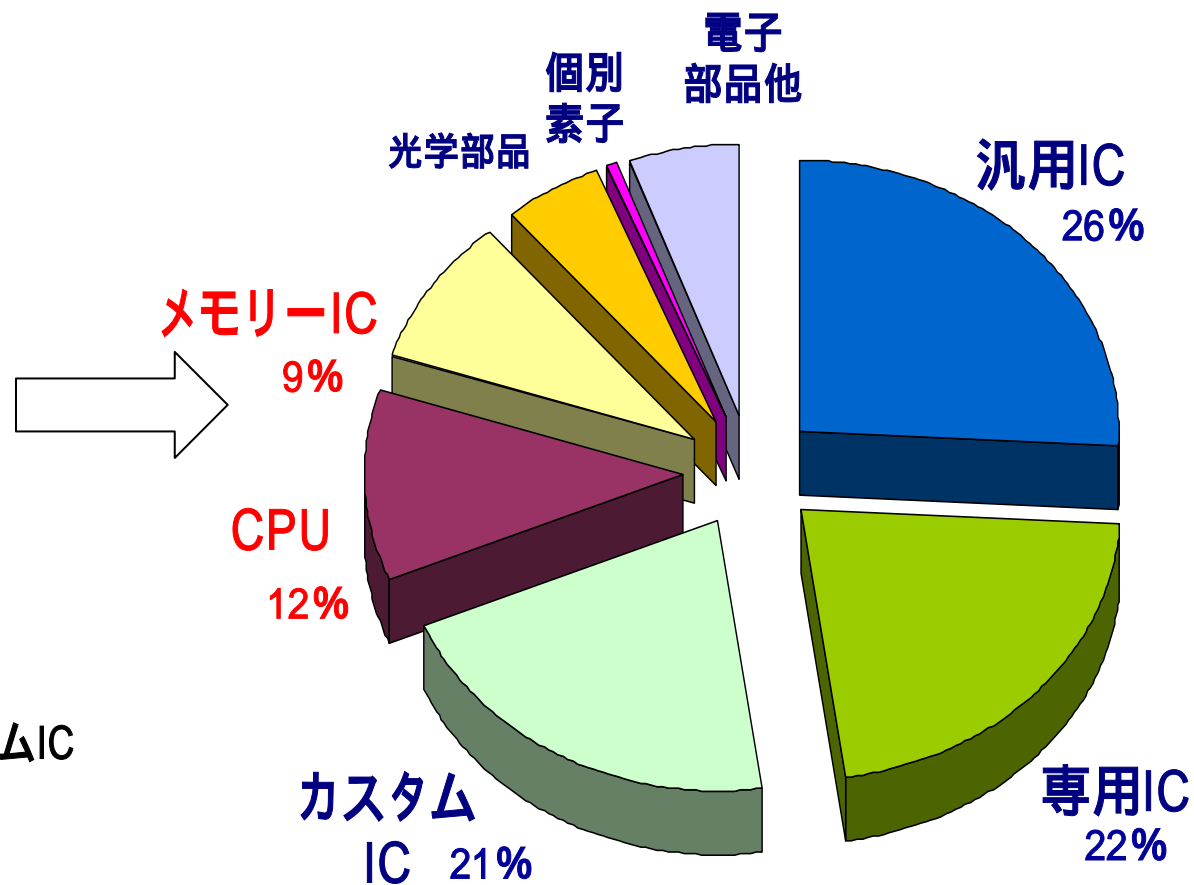
< 2010年3月期中間 内訳 >

売上高：32,661百万円



< 2011年3月期中間 内訳 >

売上高：37,475百万円



\* 品目についての説明は、P.33 ~ P.35をご参照ください。

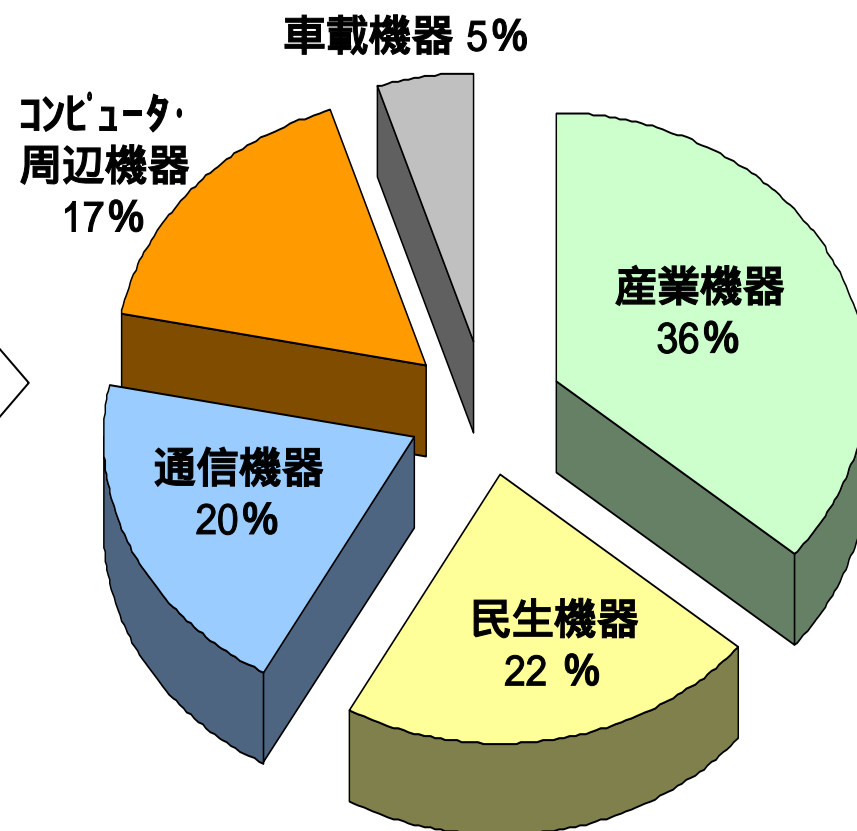
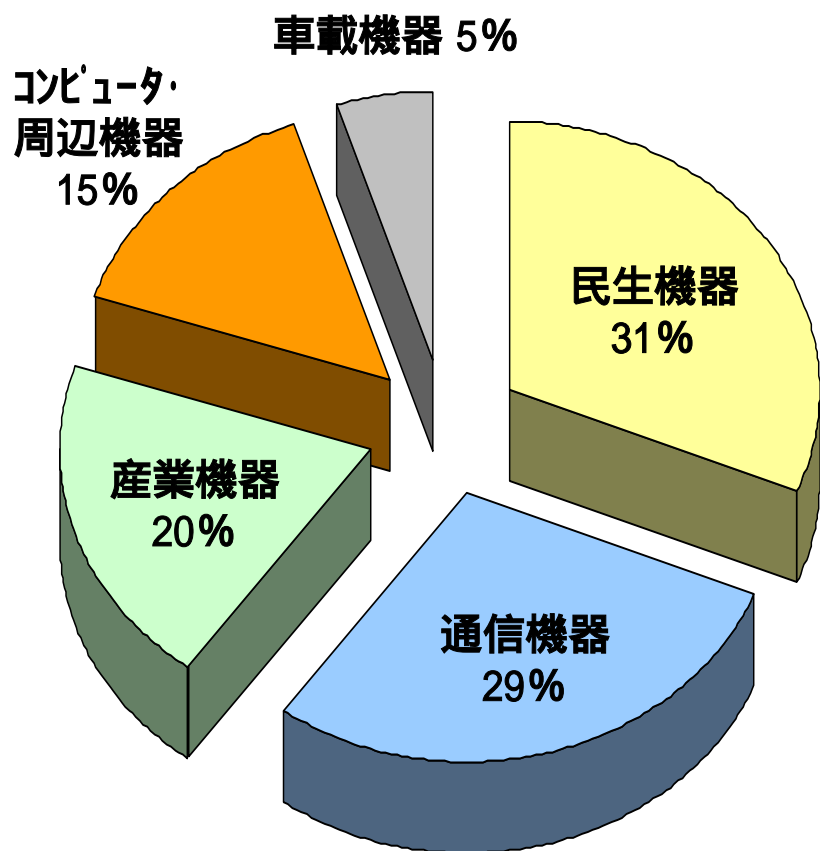
半導体及び電子デバイス事業  
品目別 売上増減

主な品目	主な仕入先	対前年増減率	主な要因
汎用IC	リアテクノロジー、TI	55%	産業機器向け中心に全分野で増加
専用IC	ピクセルワークス、ピクシス、シリコンイメージ、フリースケール	9%	液晶プロジェクタ、複合プリンタ、AVアンプ向け増加
カスタムIC	ザイリンクス、富士通	16%	医療機器、製造装置等の産業機器向け増加
CPU	フリースケール、富士通、TI	1%	デジタル家電向け減少
メモリーIC	スパンション、IDT	29%	仕入先から供給不安を受けデジタル家電向け減少

注) 社名は、敬称を省略し略称を使用させていただいております。

< 2010年3月期中間 内訳 >  
売上高: 32,661百万円

< 2011年3月期中間 内訳 >  
売上高: 37,475百万円

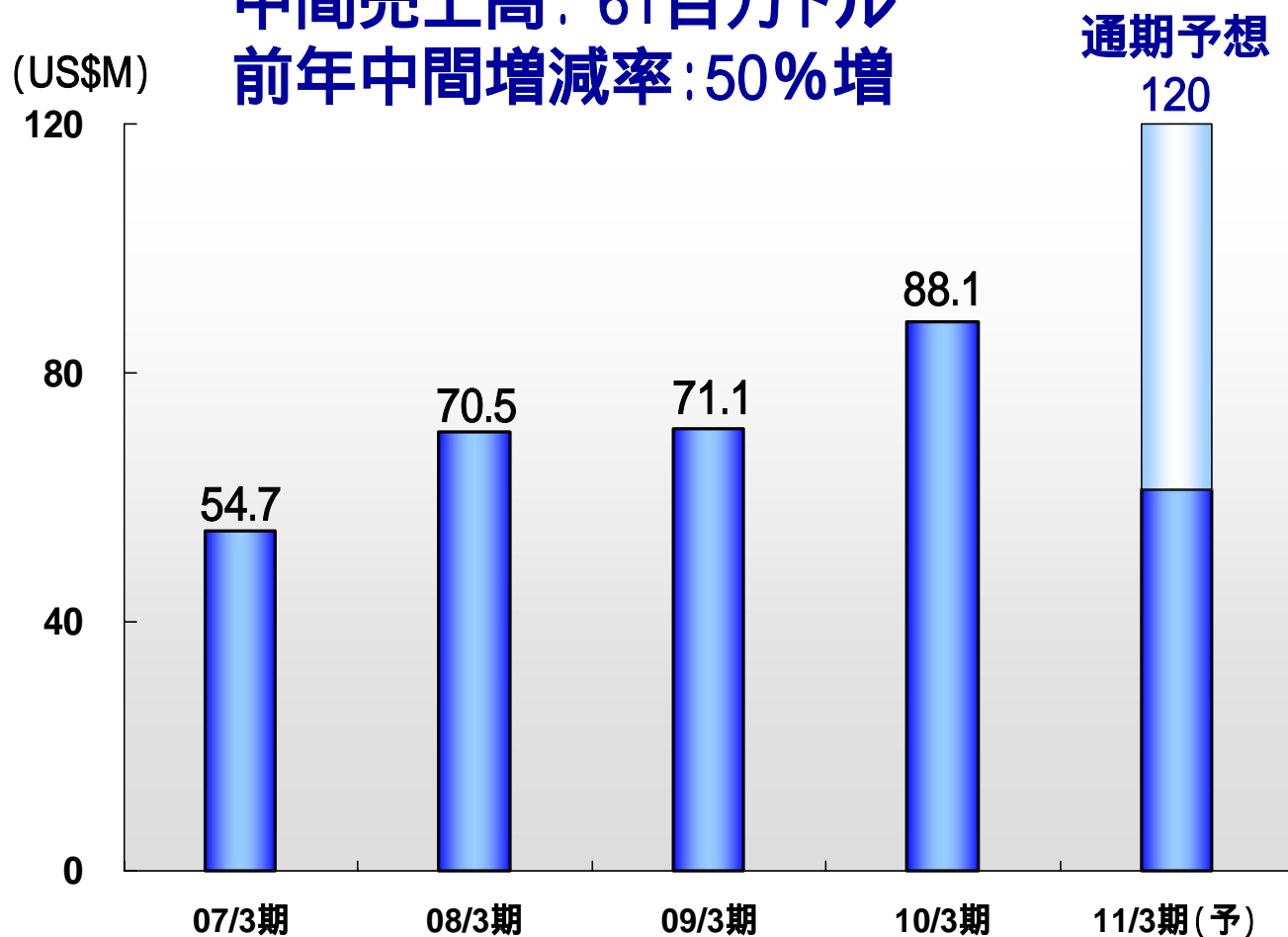


# 用途別 傾向

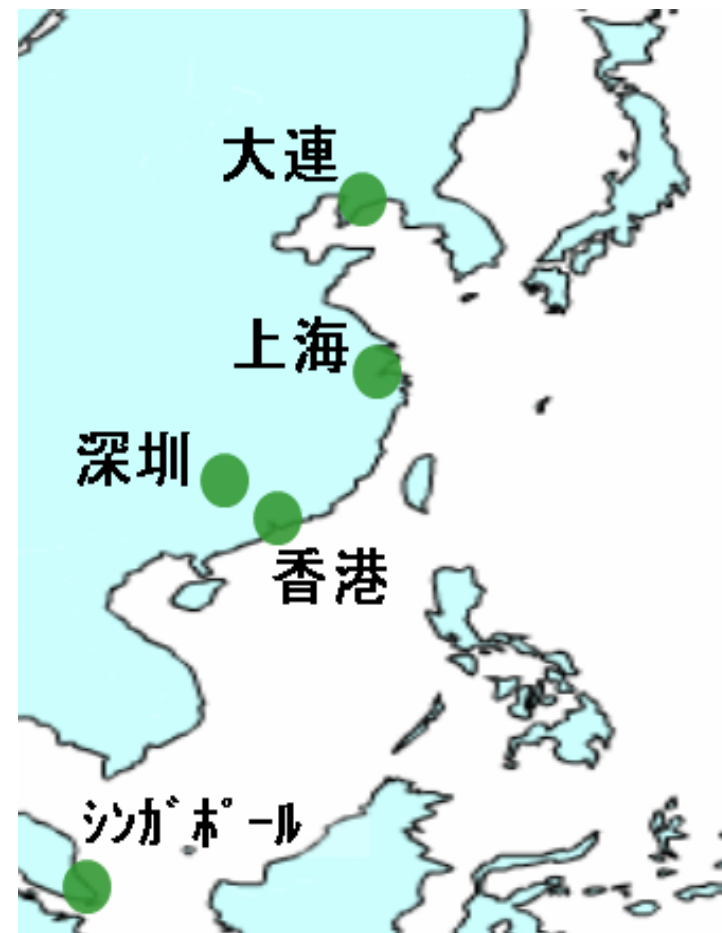
用途	主なアプリケーション	当社の傾向
産業機器	医療機器、放送機器、テスター、半導体製造装置、ロボット、計測器、工作機器	産業機器全分野好調
民生機器	デジタルカメラ、デジタルビデオカメラ、薄型TV、AV機器	エコポイント需要に一服感
通信機器	携帯電話、ルーター、伝送装置、基地局	基地局、携帯電話ともに低調 商権移管の影響
コンピュータ・周辺機器	複合プリンター、液晶プロジェクタ、PC及び付属機器	複合プリンター-堅調 PC、液晶プロジェクタ回復
車載機器	カーナビゲーション、カーオーディオ	カーナビゲーション堅調

【海外連結子会社 売上高推移】

中間売上高: 61百万ドル  
前年中間増減率: 50%増



【営業拠点】



# 開発ビジネス

***inrevium***

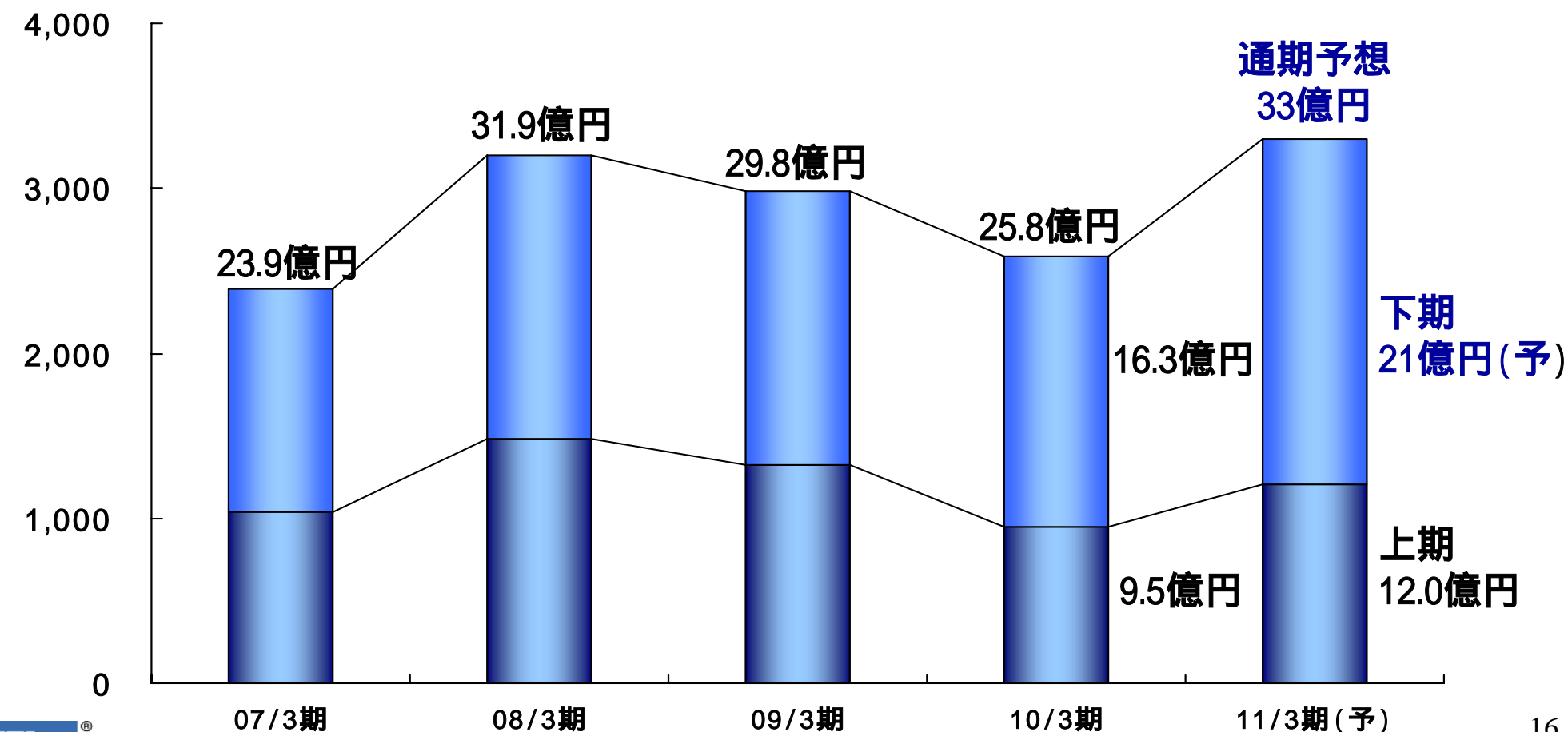
(インレビウム)

# インレビウム売上高推移

中間売上高：12億円

前年中間増減率：26%増

(百万円)





## FPGA搭載 LSI開発支援用評価ボード

- ・ 最大規模FPGA(ザイリンクス社製Virtex-6)や高速メモリDDR3を搭載
- ・ 開発期間の短縮に効果を発揮
- ・ 2010年6月販売開始



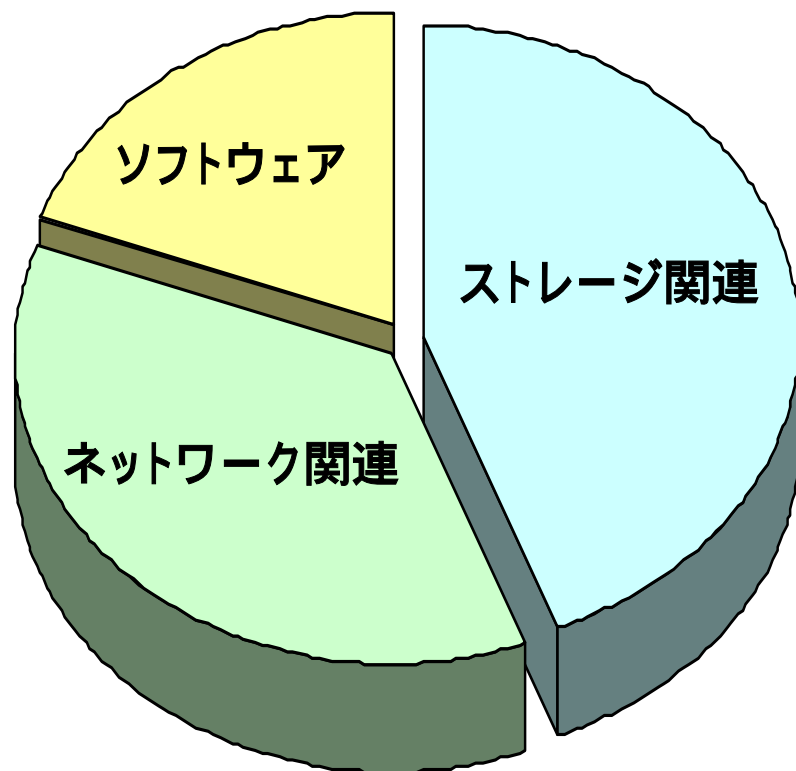
< 主な応用分野 >  
3Dテレビや  
高画質映像機器など

「TB-6V-LX760-LSI」

# コンピュータシステム関連事業

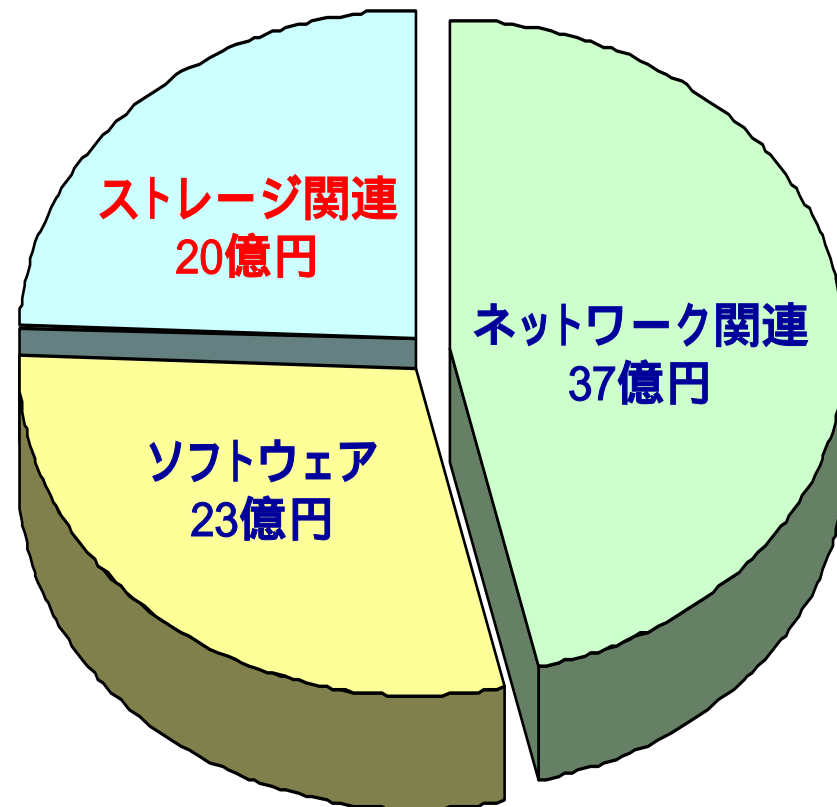
< 2010年3月期中間 内訳 >

売上高: 8,262百万円



< 2011年3月期中間 内訳 >

売上高: 8,059百万円



# 品目別売上増減要因

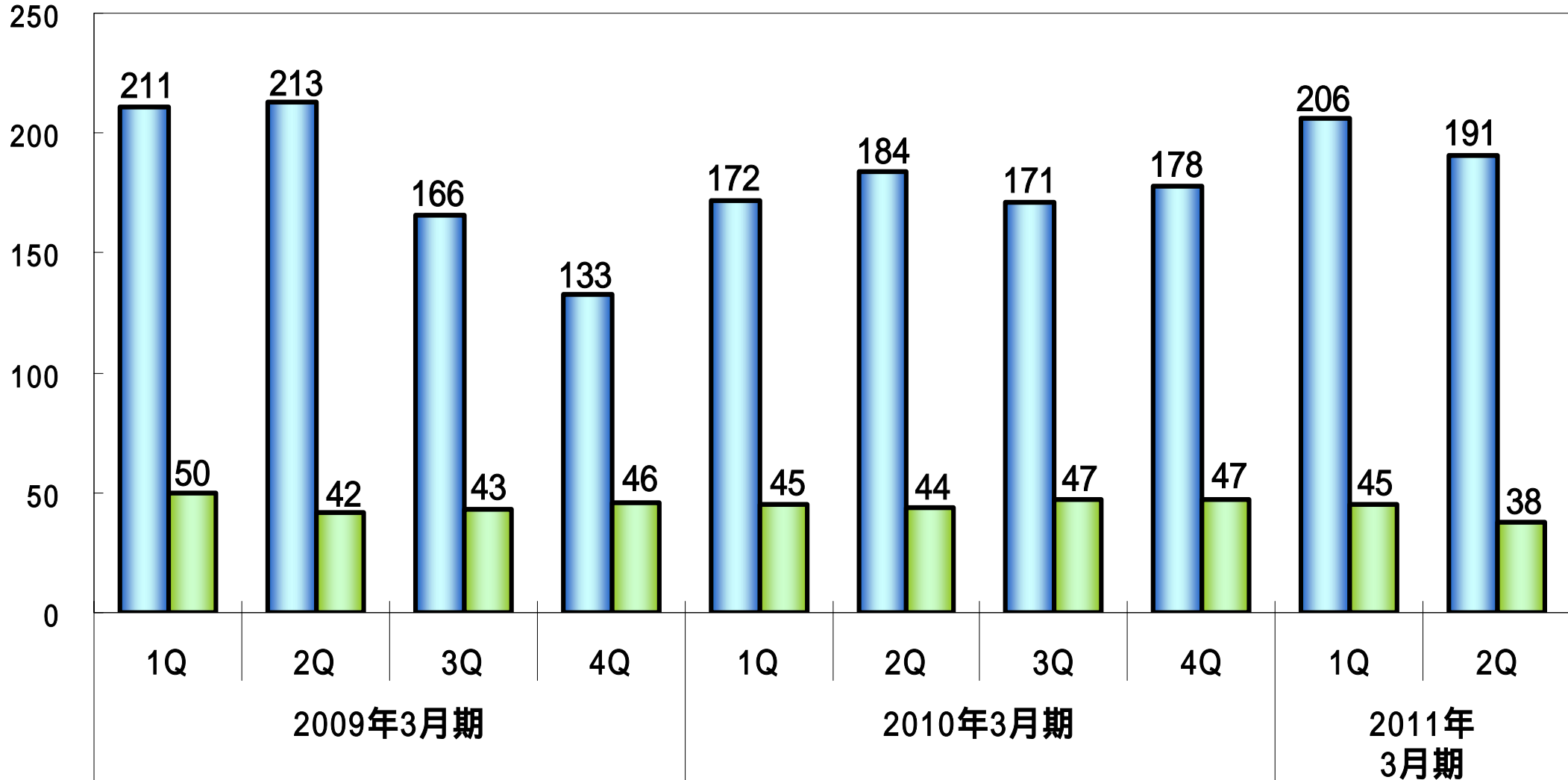
品目	主な仕入先	対前年増減率	主な要因
ネットワーク関連	F5ネットワークス	24%	製品販売回復、保守堅調
ソフトウェア	マイクロソフト	46%	POS端末向けソフトウェア増加
ストレージ関連	ブロード	46%	IT投資の抑制および 商流の変更による減少

注) 社名は、敬称を省略し略称を使用させていただいております。

# 足元の業況及び今期の業績見込み

# 受注高推移

(億円) ■ 半導体及び電子デバイス ■ コンピュータシステム関連



# 当社を取りまく事業環境

## 【半導体及び電子デバイス事業】

- ・ 上期：産業機器の回復顕著  
第1四半期好調、第2四半期一服感
- ・ 下期：一部用途には減速懸念あるが、  
足元の状況は総じて底堅く、堅調持続を想定

## 【コンピュータシステム関連事業】

- ・ 上期：企業のIT投資は慎重  
製品販売は回復途上だが想定どおり  
保守は堅調
- ・ 下期：下期偏重の傾向あり、回復を想定

# セグメント別 連結売上高予想

(単位:百万円)

セグメント	中間実績	下期予想	通期予想	対前年通期	
				増減額	増減率 (%)
半導体及び電子デバイス事業	37,475	37,525	75,000	7,560	11.2
コンピュータシステム関連事業	8,059	9,941	18,000	293	1.7
合 計	45,535	47,465	93,000	7,854	9.2



# 2011年3月期 連結業績予想

(単位:百万円)

	中間 実績	下期 予想	通期 予想	対前年通期	
				増減額	増減率 (%)
売上高	45,535	47,465	93,000	7,854	9.2
営業利益	1,150	1,720	2,870	790	38.0
経常利益	1,247	1,653	2,900	782	37.0
当期純利益	861	1,049	1,910	743	63.8

# 3ヶ年計画

2010年7月29日 発表

事業環境の変化に速やかに対応するため

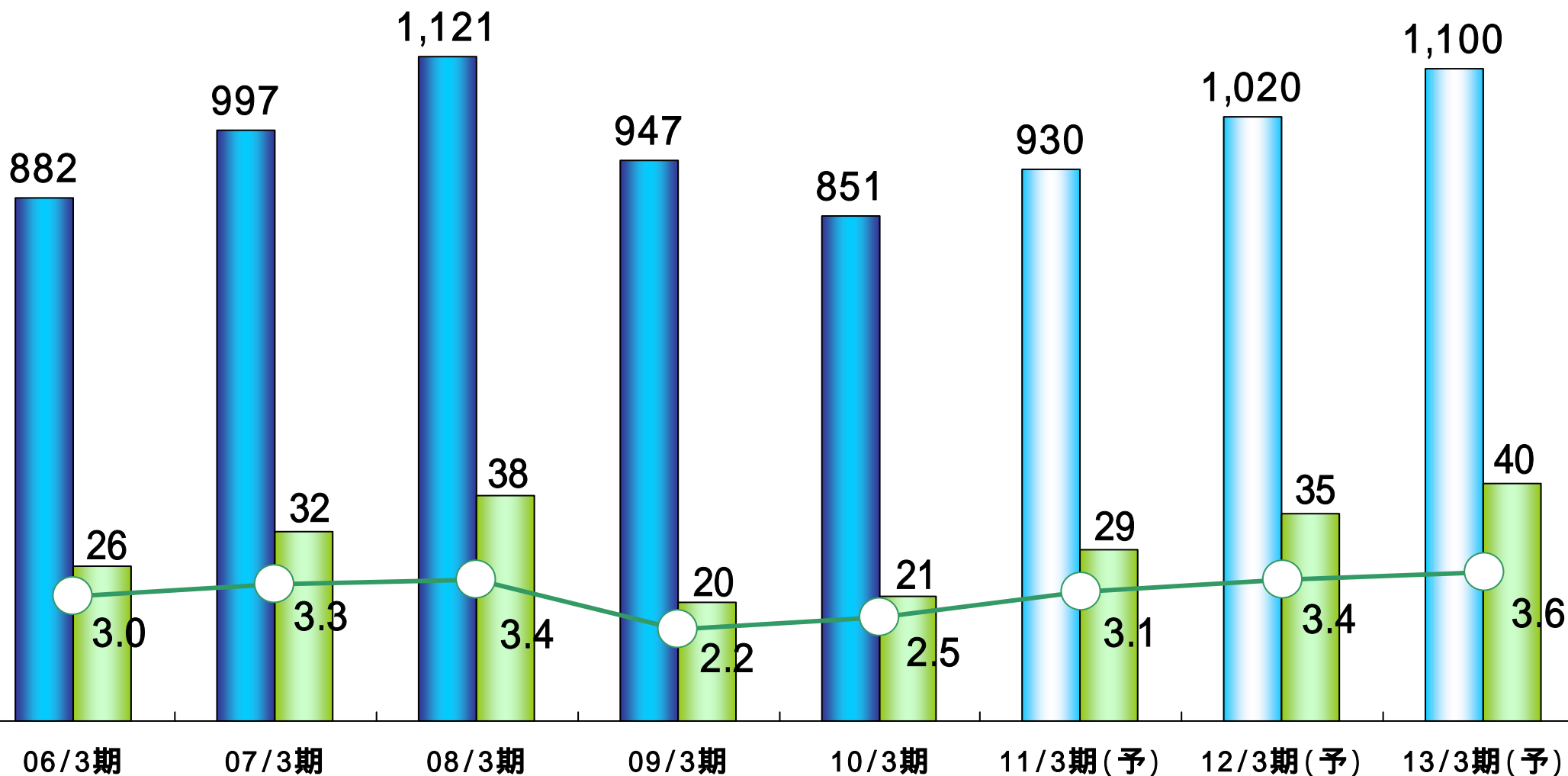
ローリング方式の3ヶ年計画を今年度から開始

# 業績推移及び3ヶ年計画

■ 売上高(億円)

■ 経常利益(億円)

○ 経常利益率(%)



06/3期

07/3期

08/3期

09/3期

10/3期

11/3期(予)

12/3期(予)

13/3期(予)



# 1. 半導体及び電子デバイス事業

## 新規顧客獲得

拠点拡充による地域密着営業の一層推進  
産業機器分野(医療、環境など)に注力

## 商権拡大

技術サポートの充実により既存顧客を深耕

## 有望マーケットであるアジア地域での拡販

営業拠点の拡充

現地企業への営業強化

# 1. 半導体及び電子デバイス事業

## 開発ビジネス

設計受託業務、OEM販売の推進  
量産供給及び品質体制の強化  
トップセールスによる顧客拡大

## 自社ブランド商品の拡販

セキュリティ関連向け商品群の拡充  
アジア地域への販売推進

## 2. コンピュータシステム関連事業

**お客様に密着した提案営業を強化**

製品別営業からお客様別営業に組織改編

全国21箇所の営業拠点を活用

**需要が高まるデータセンター向けビジネスに注力**

システム構築、製品販売、保守のトータル提案

## 3. 新規事業及び商材

### 環境エネルギー等成長分野への進出

LED、電池などの取り扱いを開始

リンクラブス社

インフィニット・パワー・ソリューションズ社

### インテル社と代理店契約

# 資料取扱い上の注意

このプレゼンテーションで述べられている将来の当社事業に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに構築されたものです。

当社の参画するエレクトロニクス業界及びIT業界は変化のスピードが大変速く、また、世界経済、半導体市況など、当社の業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。

したがって、今後当社の業績見通しが本プレゼンテーションと異なる可能性があることをお含みおきください。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。



セグメント・品目		主な仕入先名
半導体及び 電子デバイス 事業	専用IC	加'ウム・ネットワークス社、コネクサントシステムズ'社、フリースケール・セミコンダ'クタ社、富士通セミコンダ'クタ-（株）、インターシル社、ピクセルワークス社、シリコンイメージ'社、ピクシシステムズ'社、ザ'リンク・セミコンダ'クタ-社、インレビ'アム
	カスタムIC	富士通セミコンダ'クタ-（株）、ザ'イリンクス社、インレビ'アム
	汎用IC	リアテクノロジー'社、オン・セミコンダ'クタ-社、TI 社
	メモリIC	IDT社、ラムトロンインターナショナル社、スパンション社
	CPU	フリースケール・セミコンダ'クタ社、富士通セミコンダ'クタ-（株）、TI 社
	光学部品	アバ'ゴ・テクノロジー'社
	個別素子	オン・セミコンダ'クタ-社
	電子部品他	コーセル（株）、インレビ'アム
コンピュータシステム 関連事業	ネットワーク機器	エクストリームネットワークス社、F5ネットワークス社
	ストレージ関連	ブロード'社、エミュレックス社
	ソフトウェア	マイクロソフト社、オラクル社、センセ-ジ'社

品目	主な取扱商品	機能
専用IC	画像処理用IC 通信用・ネットワーク用IC	特定用途用に作られた専用IC
カスタムIC	ASIC、PLD	お客様の仕様に応じて作られる固有IC
汎用IC	汎用リアIC(アナログIC) 汎用ロジックIC	色々な用途に共通に使用されるIC
メモリーIC	DRAM、SRAM フラッシュメモリー	記憶用IC、書込み、読出しが可能なものや 読出しのみのものがある
CPU	マイクロプロセッサ、DSP	電子機器の頭脳、演算機能・制御機能
光学部品	発光ダイオード、フォトグラ	電気を光に変換して使用する電子部品
個別素子	整流素子、トランジスタ	増幅、整流などの機能を持つ部品
電子部品他	ボード、電源、コネクタ	プリント配線基板の上にIC、電源、コネクタなどの 部品を実装した製品(ボード)

<p>ネットワーク関連</p>		<p>インターネット接続機器(負荷分散、セキュリティ) 企業向けネットワークシステム構築機器。</p>
<p>ストレージ関連</p>		<p>SAN(ストレージエリアネットワーク)スイッチ、 SAN接続機器、ストレージセキュリティ機器など。</p>
<p>ソフトウェア</p>		<p>企業向け産業機器に組み込まれるマイクロソフト社のソフトウェア。 セキュリティ用ログ長期保存・分析ミドルウェア。</p>